



## 2020年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝  
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ統括責任者 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(5752)3897  
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年4月期第3四半期の連結業績(2019年5月1日~2020年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第3四半期	11,487	17.9	415	32.9	431	42.2	245	42.8
2019年4月期第3四半期	9,745	17.8	312	△14.3	303	△18.5	171	△39.9

(注) 包括利益 2020年4月期第3四半期 244百万円 (43.9%) 2019年4月期第3四半期 169百万円 (△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第3四半期	38.72	—
2019年4月期第3四半期	26.96	26.96

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第3四半期	6,577	3,961	58.4
2019年4月期	6,827	3,810	54.9

(参考) 自己資本 2020年4月期第3四半期 3,841百万円 2019年4月期 3,749百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	—	—	9.00	9.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日~2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,035	15.8	743	18.3	751	16.5	451	19.0	71.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)台湾美麗平台股份有限公司、除外1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期3Q	6,376,000株	2019年4月期	6,376,000株
2020年4月期3Q	54,980株	2019年4月期	482株
2020年4月期3Q	6,330,276株	2019年4月期3Q	6,366,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景とし、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら消費税増税や自然災害の影響等により、個人の消費環境は先行き不透明な状況が継続しております。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、中国をはじめとするアジア新興国地域の景気悪化の懸念や、各国の貿易政策等の通商問題といった不安定要素もあり、経済の不確実性が増してきております。

美容業界におきましては、引き続き出店需要は旺盛であるものの、既存店においては顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループでは提供する商品・サービスの拡充とレベルアップに努めるとともに、WEBマーケティング施策による既存顧客の活性化と新規顧客の獲得増加に向けて注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,487,039千円（前年同期比17.9%増）、売上総利益は3,527,991千円（前年同期比17.5%増）、営業利益は415,090千円（前年同期比32.9%増）、経常利益は431,008千円（前年同期比42.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は245,127千円（前年同期比42.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム＋法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当第3四半期連結会計期間におきましては、消費税増税にともなう駆け込み需要後の反動減も若干ありましたが、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することで、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においてEC売上高が前年同期比23.7%増（物販売上構成比76.1%）、化粧品・材料売上高が前年同期比29.2%増（物販売上構成比49.0%）と伸長し、物販事業全体としての売上高は8,960,951千円（前年同期比18.3%増）、セグメント利益は405,845千円（前年同期比37.3%増）となりました。

#### ② 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ていることから、設計士やデザイナーの増員を行い積極的な営業活動を行った結果、新規開業顧客に加えて大手チェーン店本部からの受注が増加しました。この結果、当事業の売上高は2,164,268千円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は107,850千円（前年同期比45.6%増）となりました。

#### ③ その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、開業プロデュース、店舗リース、講習・アカデミーのソリューションサービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は361,819千円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益は28,978千円（前年同期比130.7%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、5,255,377千円となりました。これは、主に棚卸資産の増加があったものの、現金及び預金の減少によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、1,321,692千円となりました。これは、主に無形固定資産及び投資その他の資産の減少によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.0%減少し、2,221,817千円となりました。これは、主に仕入債務、未払金及び未払法人税等の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて16.2%増加し、393,769千円となりました。これは、主に長期借入金の増加があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、3,961,483千円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少87,184千円と配当金の支払に伴い利益剰余金の減少57,379千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加245,127千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,052,533	1,574,600
受取手形及び売掛金	1,163,717	1,116,815
営業投資有価証券	-	87,700
商品及び製品	1,635,124	1,684,537
仕掛品	83,264	189,788
その他	506,694	615,951
貸倒引当金	△16,969	△14,015
流動資産合計	5,424,365	5,255,377
固定資産		
有形固定資産	251,499	296,177
無形固定資産		
のれん	146,732	119,405
その他	308,100	276,068
無形固定資産合計	454,832	395,473
投資その他の資産	696,664	630,041
固定資産合計	1,402,997	1,321,692
資産合計	6,827,362	6,577,070
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,436	776,801
短期借入金	47,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	157,802	179,892
未払金	280,290	181,502
未払法人税等	149,315	71,415
前受金	240,832	458,014
賞与引当金	50,628	138,713
訴訟損失引当金	12,274	-
その他	506,658	388,478
流動負債合計	2,678,238	2,221,817
固定負債		
長期借入金	158,400	187,486
ポイント引当金	74,442	86,499
資産除去債務	44,224	44,870
退職給付に係る負債	8,434	8,075
その他	53,263	66,836
固定負債合計	338,764	393,769
負債合計	3,017,003	2,615,586
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	712,345	713,956
利益剰余金	2,269,475	2,446,352
自己株式	△351	△87,535
株主資本合計	3,749,854	3,841,159
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,102	△16,329
その他の包括利益累計額合計	△6,102	△16,329
新株予約権	1,028	-
非支配株主持分	65,578	136,654
純資産合計	3,810,358	3,961,483
負債純資産合計	6,827,362	6,577,070

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)
売上高	9,745,276	11,487,039
売上原価	6,741,790	7,959,047
売上総利益	3,003,486	3,527,991
販売費及び一般管理費	2,691,057	3,112,900
営業利益	312,429	415,090
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	64
固定資産売却益	-	4,298
投資有価証券売却益	-	5,746
その他	2,583	9,577
営業外収益合計	2,605	19,686
営業外費用		
支払利息	1,474	1,740
為替差損	7,633	-
障害者雇用納付金	1,160	1,280
その他	1,747	747
営業外費用合計	12,015	3,768
経常利益	303,019	431,008
特別利益		
固定資産売却益	97	-
特別利益合計	97	-
特別損失		
固定資産売却損	655	-
減損損失	-	16,695
特別損失合計	655	16,695
税金等調整前四半期純利益	302,461	414,313
法人税、住民税及び事業税	135,297	189,898
法人税等調整額	△8,482	△24,163
法人税等合計	126,815	165,735
四半期純利益	175,645	248,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,972	3,450
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,672	245,127

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	175,645	248,578
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,942	△4,392
四半期包括利益	169,702	244,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,958	241,276
非支配株主に係る四半期包括利益	3,744	2,908



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,576,767	1,866,142	302,366	9,745,276	-	9,745,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	170,593	29,903	25,840	226,337	△226,337	-
計	7,747,361	1,896,045	328,206	9,971,614	△226,337	9,745,276
セグメント利益	295,570	74,096	12,559	382,226	△69,796	312,429

(注) 1. セグメント利益の調整額△69,796千円には、セグメント間取引消去64,487千円、未実現利益の調整額2,824千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,108千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,960,951	2,164,268	361,819	11,487,039	-	11,487,039
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,891	36,828	17,051	111,771	△111,771	-
計	9,018,843	2,201,096	378,871	11,598,810	△111,771	11,487,039
セグメント利益	405,845	107,850	28,978	542,673	△127,583	415,090

(注) 1. セグメント利益の調整額△127,583千円には、セグメント間取引消去32,687千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△160,270千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHDに係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、未償却残高16,695千円を減損損失として特別損失に計上しております。